

歴史的空間での持続するまちづくり

まちの担手 & コミュニティ・伝統建築技術伝承

八女福島の空き町家の再生の現場から



小屋裏調査



床下調査



竹小舞(割竹)

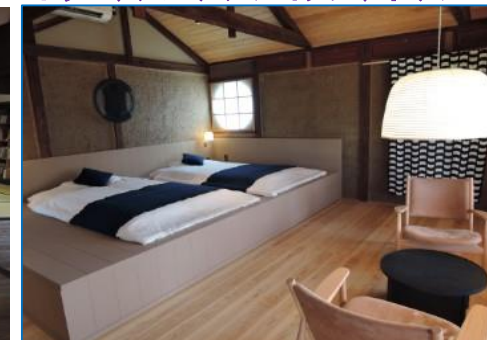


地覆と柱金輪継ぎ

町家の調査・伝統構法の修理技術



空き家町家の活用の事例、カフェレストラン、アンテナショップ、ホテル



人と人をつなぐ、伝統建築の技能継承、移住者をまちの担手へ

— 2023.01.15 「大刀洗町:自分ごと化会議」 —

NPO法人まちづくりネット八女 : 北島力

北 島 力 きたじま つとむ

法人COREZO財団 後



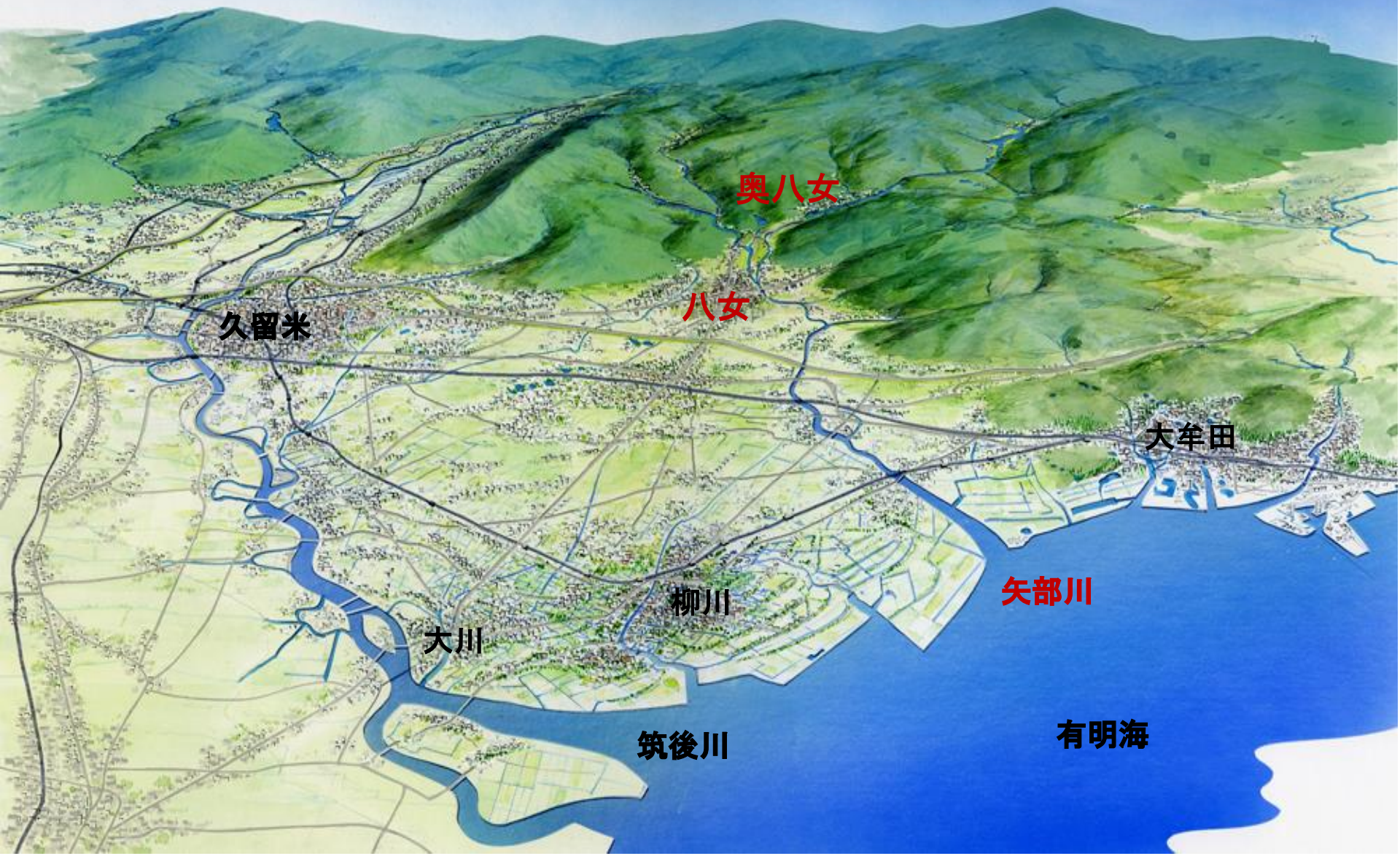
1952年(S27)福岡県八女市生まれ
1970年(S45)八女市役所に入職。42才から
八女福島の町並みの担当部署に通算16年
間勤務して、住民とともにまちづくり活動。
2012年(H24)都市計画課長を最後に退職。

受賞歴：2016年「自治体学会賞・田村明ま
ちづくり賞」2017年「日本建築学会文化賞」

活動歴：現役時代から「空き町家再生活用」、「伝統建築技術の継承」
など八女福島の町並みの活動を担う多くのNPO法人を立上げ、仕組
みづくりに奔走。現在もその活動に磨きをかけている。

「活動ポリシー」：町家や民家は、その地域の歴史文化であり、暮らし
であり、営みである。町並みは、たくさんの人々の汗と熱い思い、努力
の積重ねの上に今がある。
町並みを後世に繋いでいくということは、解体の危機をはじめ幾多の
試練と立向う覚悟がいる。

筑後平野



奥八女

八女

久留米

大牟田

柳川

矢部川

大川

筑後川

有明海

八女福島の町並み:地区の範囲

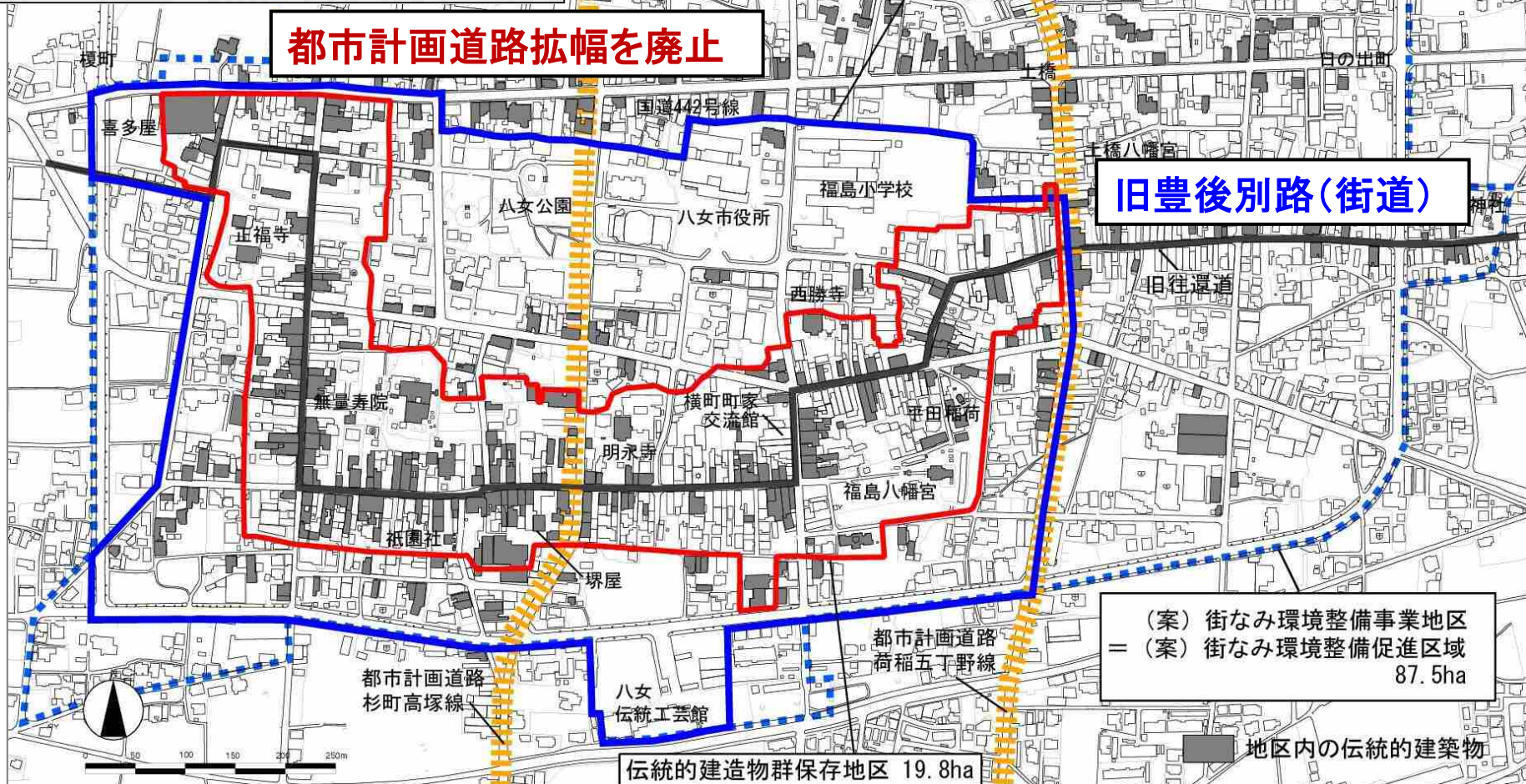
伝建地区と街環地区

←福島城下町 空間復原図(慶長6年/1601年整備)



都市計画道路拡幅を廃止

旧豊後別路(街道)



伝統的建造物群保存地区 19.8ha

(案) 街なみ環境整備事業地区
= (案) 街なみ環境整備促進区域
87.5ha

地区内の伝統的建築物



八女福島の町並み(重伝建地区)



福島商人が活躍したまち



◇ 修理・修景事業の効果 ◇

—町並みの景観が蘇える—

整備前 西宮野町



【修理】: 建物の基礎、構造は、しっかりと養生して、外観とともに履歴に基づき直す。シロアリ駆除は、徹底して行う。内部は、建物のクオリティを守りつつ、現代の生活を許容する。

整備後

【修景】: 新築及び景観を阻害している建物の修景は、現代の建築技術の発展を許容しながら、建築主の選択を尊重して、伝統的な通りの景観を向上させることを基本としている。



● 八女福島のまちづくり推進体制 ●

様々なまちづくり団体が連携し、得意分野を伸ばす

公民協働

許可・助成・指導

申請・相談

意見収集・合意形成

代表者委任・相談

★行政(八女市)

定住対策課

(町並み景観係)

町並み保存会へは、
事務局を担当して支援

助言・答申
意見具申

諮問

★諮問機関

八女市伝建審議会

《専門委員》(九州大学、
久留米工業大学、地元建築家等)

住民

協定者

★住民の
推進機関

八女福島町並み
保存会

空き家活用委員会

景観委員会

広報・観光委員会

全国町並み保存連盟加盟

連携
協力

参画
協力

相談・協力

相談 参画・支援

専門委員から 助言・指導

★まちづくり会社

○(株)NOTE八女

農泊事業：共有団体と連携

○八女タウンマネージメント(株)

宿泊事業：八女商工会議所

アドバイザー(株)つぎと

連携

★まちづくり団体

○八女・本町筋を愛する会

○八女ふるさと塾

○八女市観光案内人の会

○NPO八女町家再生応援団

○NPO八女空き家再生スイッチ

○NPOまちづくりネット八女

○NPO福島八幡宮建造物保存機構

・ホームページを共有
・情報発信強化
・「八女町家ねっと」

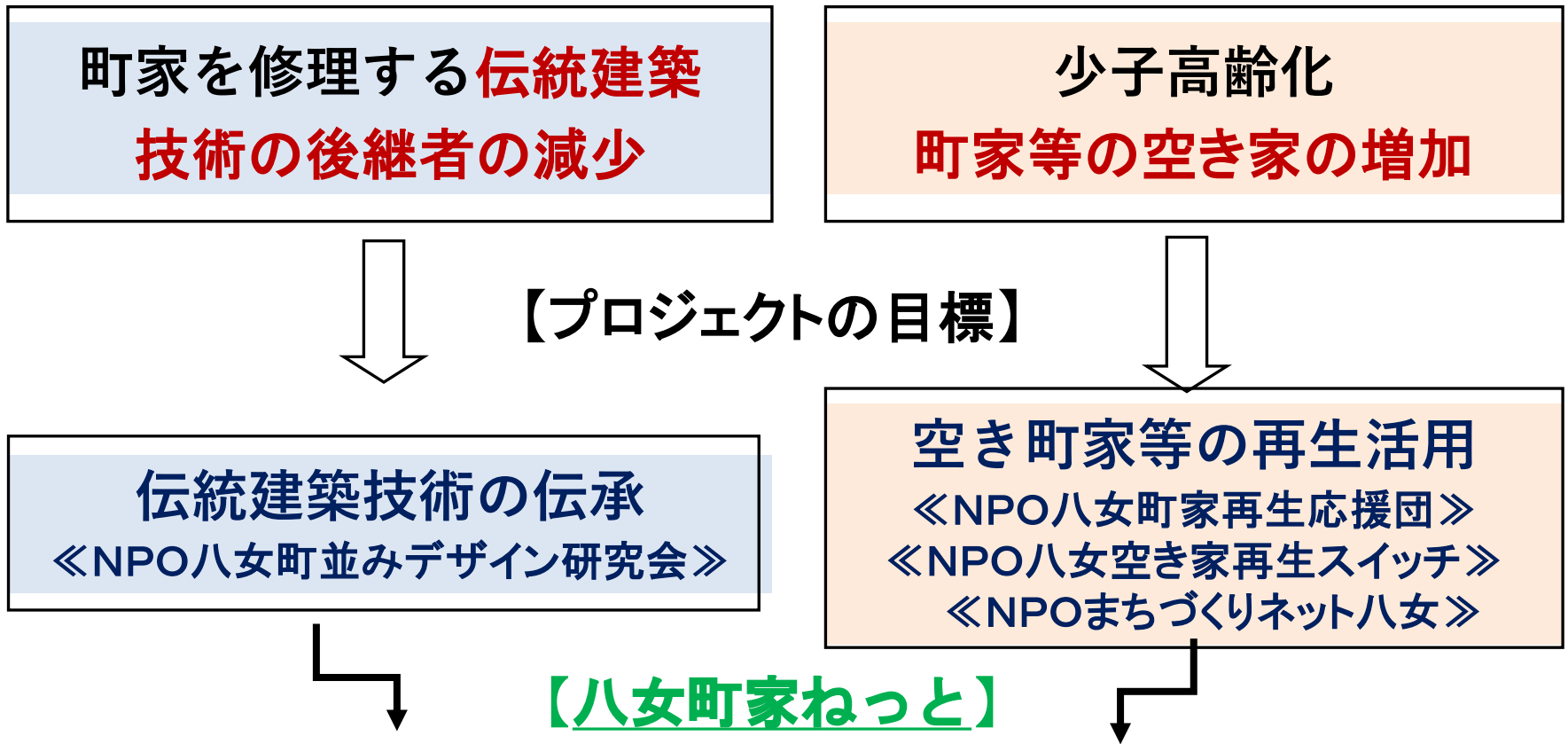
★まちづくり団体
(設計・施工)

ONPO八女町並みデザイン研究会

● 八女福島のまちづくりの特徴 ●

* 日本ユネスコ ・ プロジェクト未来遺産 2010登録 *

【文化遺産の継承と仕組みづくり】



「八女福島遺産」 保存継承 → 暮らし・コミュニティの持続

● 空き町家等の再生活用 ●

NPO法人 八女町家再生応援団（12名）

NPO法人 八女空き家再生スイッチ（20名）

NPO法人 まちづくりネット八女（18名）

=空き家再生のまちづくり集団

○空き家再生NPOと建築集団NPOがタッグ → **住民組織は支援**

（それぞれの得意分野を尊重し、うまく連携）

○空き家を解体させない懸命の努力 → **町並みの価値を下げない**

（地元の人が約22軒を買取り、寄附受入など、更地化を防ぐ）

○空き家再生活用の「代行」の仕組み → **銀行・社会貢献支援資金**

（1棟でも多く町家を残す。リスクを共有する有志を結集して、具体化）

○NPOは、移住者個人のサポートを重要視 → **若者の能力を引出し**

起業支援、移住者を歴史的建築物の継手・まちづくりの担手に

（NPOは賃貸等をサポートして、移住者の積極的受入、若者の起業を促す）」
→ **暮らし・コミュニティの持続に繋げる**

◇ まちづくり団体は、町家を残す懸命の努力 ◇

2022年9月 時点

八女福島伝統的建造物群保存地区

伝建で解体を止めた空き家(買取・寄附)24軒

伝建でも倒壊・解体を止められなかった空き家3軒

伝建前に台風被害等で解体をされた主な伝統家屋

福島八幡宮

八女伝統工芸館

一つ町家が潰されれば、
町並みの価値が
一つの町家分下がる

